

かね井染織(株)は、昭和13年創業の京友禅捺染の老舗企業で、本所には昭和34年から加入、52年の永年継続会員です。「研究が家の宝」とした初代から受け継がれた伝統的な京友禅の技術をもとに、新たな技法を開発、意欲的な創作品を発表し、数々の競技会で表彰を受けています。

「伝統を生かすためには、機械を上手く取り入れて道具として活用し、個性を表現することが重要」と、ものづくり職人としての生きがい語る3代目岩田社長。近年では、植物由来成分の接着剤の開発など、革新的な取り組みも行っています。これらの開発は、初代から受け継ぎ、大切に守り生かし続けてきた京友禅の伝統技術がベースとなっています。



開発した接着剤を利用した建具

本所の活用法については、「新商品開発の際に、商工会議所の経営支援員に公的助成制度の情報提供を受けたり、マーケティングの専門家の派遣を受けたりと大変お世話になった」と岩田社長。それを受けて、小澤部会長は「ものづくりの魂を持ち、伝統という『根っこ』を守りながら、革新的な事業展開も行う同社の取り組みは、繊維・染織部会員だけでなく、商工会議所の会員企業の参考になる良い事業例。個性的な経営は中小企業だからこそできること」とコメントしました。

繊維・染織部会では、本所の経営支援を活用していただくことや、部会事業、会員同士の交流などを通して、今後も伝統産業に受け継がれている知恵の活用をお手伝いしていきます。



初代から受け継ぐ京友禅の高い技術

初代から受け継ぐ伝統を生かした革新

中小企業の良さを生かした個性的な事業展開



小澤部会長(左)と岩田社長(右)。両面染めで仕上げた型友禅染色尺「あいの虹」が、第62回京友禅競技大会にて経済産業大臣賞を受賞しました。

こんにちは！
〇〇部会です

部会長の部会員訪問
繊維・染織部会編

伝統を守りながら
革新に挑戦する
京友禅の老舗

かね井染織株式会社

会員との“つながり”拡充を目的に、本所の12部会の部会長が部会員の皆さまを訪問いたしております。今回は、繊維・染織部会の小澤淳二部会長が、京友禅のかね井染織(株)を訪問し、岩田吉弘代表取締役社長にお話を伺いました。

繊維・染織部会のご紹介

〈部 会 長〉小澤 淳二(大松株式会社 代表取締役会長)
〈部会員数〉865件(10月25日現在)

繊維・染織部会では、従来の業種・業界の枠を超えた部会員相互の交流やセミナー・講演会などを通じて、会員メリットにつながる事業を実施しております。部会員の皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

【繊維・染織部会の年間事業予定】

年2回(夏・冬) 「講演会」
年1回(秋) 「視察見学会」

【お問合せ】

繊維・染織部会事務局
(京都商工会議所 産業振興部)
T E L : 075-212-6450
E-mail : shinkou@kyo.or.jp